

「うちだけは大丈夫」は危険！

空き巣に嫌われる家にする

岡地域づくり課 ☎(235)4789
海老名警察署生活安全課 ☎(232)0110

平成28年の年末から、市内の空き巣発生件数が増えています。住民の不在時を狙って住居に侵入し、財産を奪う空き巣物を失うだけでなく、室内を乱されたショックや「また侵入されるのでは」という恐怖感・不安感に襲われるなど、空き巣被害の精神的被害は、とても大きいといわれています。

「うちだけは大丈夫」という根拠のない安心は危険です。市内での空き巣被害の状況を見ると、一戸建て住宅が狙われやすく、窓ガラスを割られて侵入されるケースが多く見られます。空き巣は姿を見られることや、侵入時間を費やすことを嫌います。身近にできる対策として、センサーライトや補助錠の設置など防犯グッズを使用することも効果的です。

留守だと悟られないよう、対策をすることが重要です。洗濯物を遅い時間まで干しておくのはやめましょう。また、帰宅が遅くなる場合は室内灯を1つつけておくのも効果的です。



▲室内灯の上手な利用を



対策1 安易に侵入させない

無施錠の状態や足場を与えることは空き巣にどうぞ侵入してくださいます。戸締まりは防犯の基本です。ごみ出しなどのわずかな時間でも必ず鍵を掛けましょう。また、ごみ箱やはしごなどを足場にして、2階に侵入されることもあります。敷地内には置かないようにしましょう。



▲小窓の施錠も忘れずに

対策3 空き巣を「ドッキリ」させる

植木の刈り込みをこまめに行い、見通しを良くしておきましょう。また、センサーライトや、ドアの開閉が音で分かるベルや鈴の取り付けも「見られたかも?」「気付かれたかも?」と思わせるためには効果的です。



▲人の出入りをセンサーが感知



▲ドアの開閉を音でお知らせ

対策4 プラスアルファで防犯機能アップ!

市販の防犯グッズをプラスして、空き巣に嫌われる家にしましょう。

- ガラスフィルム
- 補助錠
- 歩くと音がする防犯砂利
- センサーライト



▲補助錠で侵入をブロック